

MASTER KEY ASIA

■ 希少がんプラットフォーム試験

□ 希少がんレジストリ

- 日本では既に約2,000例以上を登録
- 海外施設から一定数の登録を義務づけ

□ 臨床試験パート

- 日本では副試験として19試験を実施中 (医師主導治験12、企業治験7)
- 副試験を可能な限りアジア共同試験として企業へ提案

□ 希少がん診断標準化とNGS解析

- アジア参加施設から腫瘍検体、血液検体を収集
- 希少がんの病理中央判定を実施し、病理診断を標準化
- NGS解析のための検体精度の確認
- NGS解析を実施し、参加施設へレポートする仕組みを構築

- ✓ 希少がんの臨床情報とゲノム情報が紐づいたデータベースをアジア全体で構築
- ✓ アジアにおけるがんゲノム医療の実装を推進
- ✓ レジストリをアジア共同試験のゲートウェイとして活用

